

令和元年度 公益財団法人日立地区産業支援センター

事業報告書

公益財団法人 日立地区産業支援センター

令和元年度 事業報告書

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、企業業績や個人消費の落ち込みが日々深刻化しており、日本経済は長期低迷の危機にあると言われております。

内閣府が発表した5月の月例経済報告では、国内景気の判断を、「新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある」との認識を示しました。4月に示した過去最も厳しい景気認識を5月も維持しました。現在、経済活動が段階的に再開しているところですが、国等が講じる雇用や企業の支援策が早く行き渡らなければ、経済へのダメージは大きくなり、景気回復が遅れる可能性もあります。

本地域においても、地域中小企業を取り巻く環境は見通しが立たず、厳しい状況が続いていくことが予想されます。

このような中、国においては、雇用の維持、事業の継続を最優先に取り組む観点から、無利子の融資や給付金、納税猶予の特例など事業者の資金繰りや雇用の維持についての支援を様々な手段で進めています。

また、県や市においても、国の取組への上乗せ、横出し支援のほか、独自の経済対策を強力に推し進めているところです。

当財団においても、市と連携し、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者向けの相談対応や雇用調整助成金等に係る説明会開催に加え、中小企業に対する雇用調整助成金等の専門家派遣を開始しました。

令和元年度は、年度終盤、事業規模の縮小など新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業もありましたが、「第2次日立市商工振興計画」に基づき、日立市の交付金事業を実施したほか、地域中核企業ローカルイノベーション支援事業（経済産業省）、戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）、県北ものづくり産業活性化支援事業（茨城県）など、国・県等の補助事業や委託事業を活用し、人材育成を始め、競争力の強化、受注開拓、新製品新技術の開発、創業支援など幅広く支援事業に取り組み、多くの中小企業に参加いただくことができました。

地域の振興には、産業の活性化が不可欠であり、新型コロナウイルス感染症の収束後の地域経済の回復に向けた取組、そして、将来の感染症リスク対策につながるIT化の取組などを進めるとともに、地域経済の持続的な成長の実現に向けて、経済環境の変化、地域の特性、企業のニーズなどを踏まえた様々な産業支援策を効果的かつ効率的に展開してまいります。

【新規】…令和元年度に新たに取り組んだ事業

【総合戦略】…「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
に示された事業

I. 財団企画事業の計画、実施

1 人材育成に関する事業

(1) ものづくり基礎技術研修

ア 図面の見方研修

図面の役割、幾何公差、溶接記号等図面を見る上で必要な知識を習得する研修を実施し、個人及び企業のレベルアップを図った。

(ア) 研修内容

研修名	回数	受講者数	講師	内容
機械 図面の見方	4回	63名 (40社)	中小企業実務アドバイザー 原 孝介 氏	図面の種類、表示方法、記号の意味、読み方、注意点などの解説 実際の図面を使用して見方、読み方を指導
製缶・溶接 図面の見方	3回	29名 (20社)	中小企業実務アドバイザー 塚本 孝夫 氏	
電気 図面の見方	1回	18名 (7社)	中小企業実務アドバイザー 関山 喜郎 氏	

※ いずれの研修も(4時間/日×3日間 = 12時間)の研修

(イ) 事業の成果及び効果

アンケート結果では大半の受講者から「理解できた」との回答があった。講師はいずれも実務経験が豊富であり、経験談なども好評であった。



研修風景①



研修風景②



研修風景③

イ 測定器取扱基礎研修

品質の維持及び向上のためには、正しい「評価」が不可欠であり、また、正しい「評価」を行うために、正しい「計測技術」が必要である。本研修は測定工具を扱う実務担当者に正しい測定技術を身に付けてもらうためのもので、実際にノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ハイトゲージなどの測定工具を使って品物を測定し、技術の習得を図った。

(ア) 開催日、受講者数及び研修内容

開催日・講師	受講者数	内容
7月18日 7月19日 講師 中小企業実務アドバイザー 宮田 清美 氏 守田 博敏 氏	35名 (17社)	a 測定器の種類、用途、注意点等についてテキストを使用し解説 b ノギス、マイクロメーターを1人1台使用し教材の測定物を実測 c ダイヤルゲージの使い方を学び、シリンダーゲージに取り付け実測 d ハイトゲージにて実測(各測定実測時は講

		師が巡回して指導) e 質疑応答(疑問点等全般に関する事項)
--	--	-----------------------------------

※ 4時間の研修を2日間に分けて実施

(イ) 事業の成果及び効果

- a 多数の受講申込みがあったため、2日間に分けて開催し、講師が受講者の席を巡回して測定方法を指導したことで理解度を高めることができた。
- b アンケート結果では、「大変良く理解できた」と「良く理解できた」を合わせると80%、「ある程度理解できた」が20%であり、好評であった。



研修風景①



研修風景②



研修風景③

ウ 三次元測定機操作研修

センターに導入されている三次元測定機の更新に伴い、倣い測定やレーザー測定等が可能となり、地域企業に対する周知及び利用促進を図るため、操作研修を行った。

(ア) 開催日 7月2日(火)

(イ) 内容

- a 三次元測定機の基礎教習
- b 実機を使用してのデモ(倣い測定、立体測定)

(ウ) 講師 (株)ミットヨ 営業本部東日本営業部
技術営業課 渡邊 裕亮 氏

(エ) 受講者 4名(4社)



研修風景

エ 導入機器操作技術個別指導

センターに導入されている各種機器の適正な利用を促すため、利用者に操作方法の個別指導などを実施した。

(ア) 実施内容

試験評価機器の種類	回数
三次元測定機システム	4
CNC 画像測定機	3
振動試験機	11
非接触表面粗さ測定機システム	1
万能試験機	4
恒温恒湿器	11
冷熱試験機	1
微小硬さ試験機	2

マイクロスコープ	1
合計	38

(イ) 事業の成果及び効果

- a 利用者が機器を利用する前に操作技術の個別指導を行ったことで、理解度を高めることができた。
- b 個別の状況に応じた対応が可能のため、利用者から非常に好評であった。

(2) 機械加工基礎研修

品質の維持及び向上には、正しい機械操作を行い、良い品質のものを加工する必要がある。そのため、マシニングセンタを使用して間もない方、これから使用予定の方等の初心者を対象に、安全教育から基本操作、プログラミングの基礎といった基本的な内容を習得するための研修を実施した。

ア 開催日、受講者数及び研修内容

開催日・講師	受講者数	内容
	修了者数	
第1回 6月24日～28日 第2回 7月29日～8月2日 第3回 10月7日～11日 第4回 2月3日～7日 講師 中小企業実務アドバイザー 宮田 清美 氏	18名 (18社)	(ア) マシニングセンタの概要 特徴、加工の種類、用途、切削工具とツーリングシステム (イ) プログラミング 加工手順、切削条件、切削工具の決定、各種機能、指令方法、基本応用動作、固定サイクル、サブプログラム (ウ) 加工実習を通じた機械操作の安全に関する注意点 加工工程、使用工具の選定、プログラムの作成・登録・編集、工具取付・芯出し・座標系設定、切削工具取付(交換)オフセット入力、プログラムチェック、不良(誤作)事例とその対策、自作品加工、プログラミング・加工・トラブルシューティング ※6時間/日 × 5日間 = 30時間の研修
	18名 (18社)	

イ 事業の成果及び効果

- (ア) 講師の指導方法、テキスト等をわかりやすく工夫したことで、受講者からは非常に好評であった。
- (イ) 実技主体の講座とし、受講者全員が機械操作を実習したことで、受講者の理解度を高めることができた。



研修風景①



研修風景②



研修風景③

(3) 3D-CAD 操作技術研修

ア 部品等基礎

汎用性の高い3次元CADシステムであるSOLIDWORKSの作画の基本操作方法を実践的に身に付けるための研修を開催した。

(ア) 開催日、受講者数及び研修内容

開催日・講師	受講者数	内容
	修了者数	
8月5日～7日 講師 中小企業実務アドバイザー 萩庭 唯久 氏 岩崎 勇作 氏	7名 (7社)	<ul style="list-style-type: none"> ・SOLIDWORKSの概要と特徴 ・SOLIDWORKS基本操作習得 画面構成とメニューバー、ツールバー等の用語解説と操作、モデル課題(すべり軸受けの作成) ・モデル課題(携帯電話) [実習1] <ul style="list-style-type: none"> ・上カバーの基本形状、輪郭形状の作成 ・上カバーの外装面、内装部の作成 ・モデル課題(携帯電話)
	7名 (7社)	
1月22日～24日 講師 中小企業実務アドバイザー 岩崎 勇作 氏 萩庭 唯久 氏	7名 (5社)	[実習2] <ul style="list-style-type: none"> ・下カバー、バッテリー、アンテナの基本形状、輪郭形状の作成、アッセンブリの作成 ・モデル課題(ユニバーサルジョイント) [実習3] <ul style="list-style-type: none"> ・アッセンブリ分解図の作成と操作 ・2次元図面の作成(断面図、詳細図、図面記号、表題欄等の入力操作) ・SOLIDWORKSの基本操作まとめ [実習4] <ul style="list-style-type: none"> ・部品の作成(コイルバネ、ドライバー等)
	7名 (5社)	

(イ) 事業の成果及び効果

今年度は企業の研修の受けやすさを考慮し、研修期間を3日間に短縮した(従来は5日間)。この結果、2回とも受講定員いっぱいの申し込みがあった。しかし、時間が短くなった分、理解度が落ちており、今後、研修内容の見直しを行っていく。



研修風景(1回目)



研修風景(2回目)

イ 板金・溶接

汎用性の高い3次元CADシステムであるSOLIDWORKSの板金・溶接図面の作成方法を

実践的に身に付けるための研修を実施した。

(7) 開催日、受講者数及び研修内容

開催日・講師	受講者数	内容
10月24日～25日 講師 (株)TEK 長谷山 良典 氏	5名(4社)	SOLIDWORKS 板金講習 ・板金部品のモデリング ・板金のフォームツール ・追加の板金フィーチャー SOLIDWORKS 溶接講習 ・溶接の作成 ・鋼材のコーナ、フィレット ・溶接 ・溶接図面、カットリスト

(イ) 事業の成果及び効果

SOLIDWORKS は毎年新しいバージョンに更新されており、新しい機能や便利な使用方法も解説したため、受講者からの評価も高く継続したい。

ウ SOLIDWORKS セミナー

SOLIDWORKS の広汎な機能を企業に周知するためのセミナーを2回開催した。

(7) CAD/CAM/CAE セミナー

- a 開催日：11月13日(水)
- b 講師：(株)TEK 長谷山 良典 氏
- c 受講者数：11名(7社)

(イ) 3D CAD 操作体験セミナー

- a 開催日 令和2年3月25日(水)
- b 講師 (株)TEK 長谷山 良典 氏
- c 受講者数 4名(4社)

(4) 技能検定受検講座

技能検定の合格率を向上させるため、学科受検対策講座を実施した。

ア 研修内容

区分	内容
一般共通問題	択一問題の出題及び解説
過去問解説	平成22年度から30年度までの過去問の実践及び解説
関連規格等解説	労働安全、衛生規則など
質疑応答	疑問点や全般的な事項

※3時間×5日間/普通旋盤、8月1日～8月31日延べ5日間実施

3時間×3日間/数値制御旋盤、8月6日～8月27日延べ3日間実施

数値制御旋盤受講者は、普通旋盤も同時に受講した。

イ 講師 中小企業実務アドバイザー 原 孝介 氏

ウ 事業の成果及び効果

受講者2名(2社)中2名が受検し、2名全員が合格した。

科目	級	受講者数	受検者数	合格者数	合格率
普通旋盤	2級	1名	1名	1名	100%
数値制御旋盤	2級	1名	1名	1名	100%

- (ア) 受講者アンケートから、非常に解りやすい講義だったと好評であった。
 (イ) 学科試験の合格率も高く、非常に良いレベルの講義となっており、来年度もこのまま継続としたい。

(5) 日立アカデミー日立総合技術研修所公開講座共催事業

(株)日立製作所の社内研修所が平成31年4月に分社化し、(株)日立アカデミー「日立総合技術研修所」として、地域中小企業に対して講座を公開開催したため、中小企業が単独では習得する機会の少ない高度な技術研修や豊富な経験を有する講師陣による初心者にもわかりやすい基礎講座について、活用促進を図った。

ア 研修内容

講座名	研修期間	受講者数
製造・生産技術部門新人研修(電気編)	10日間	1名
シーケンスコントローラ活用入門	5日間	3名
PLCプログラミング応用	5日間	2名
技術・技能者のための基礎IEと現場活用術研修	4日間	1名
ロボットを中心にしたシステム構築技術	5日間	1名

イ 事業の成果及び効果

- (ア) 上期23講座、下期17講座が公開され、8名(5社)が5講座を受講した。
 (イ) 受講者からは、多くの技術を習得することができ、仕事に役立つと好評だった。

(6) 若手経営者等人材育成事業

地域中小企業の若手経営者及び後継者が中心となり、社会、経済及び産業構造の変化に対応できる実践力を醸成するため、自主運営及び課題研究解決型の人材育成事業である「ひたち立志塾」を実施した。

ア 実施期間 6月～3月

イ 参加者 70名(卒塾生：66名、新規塾生：4名)

ウ 塾頭 一橋大学 名誉教授 関 満博 氏

エ 実施内容

- (ア) 総会 1回
 (イ) 全体会 4回

開催日	会場	内容
6月8日	ひたちなか市文化会館	令和元年度開塾式
8月3日	日立地区産業支援センター	立志コン(塾生意見交換会)
11月19日	日立地区産業支援センター	全国若手ものづくりシンポジウム準備

2月15日	ひたちなか商工会議所	イノベーション人材育成セミナー
-------	------------	-----------------

(ウ) 運営委員会 12回

(エ) 交流会 2回

開催日	場所	内容
11月29日 ～30日	日立シビックセンター	全国若手ものづくりシンポジウム in ひたち
2月9日	東京都墨田区	明日のすみだを拓く大交流会

(オ) 新規塾生による活動

新規塾生自らがそれぞれの課題をもとにテーマを決め、塾生企業訪問等を行い、成果発表会に向けての準備を行った。

a テーマ 「沈まぬ船でいざ航海へ」

b 活動内容

開催日	場所	内容
7月1日、 24日、 9月17日	日立地区産業支援センター	立志塾について、自己紹介 テーマについての検討
11月25日	水戸精工(株)	同社見学会
11月26日	相鐵(株)	同社見学会
11月29日 ～30日	日立シビックセンター	全国若手ものづくりシンポジウム in ひたち
12月5日	(株)ヒバラコーポレーション	同社見学会
2～3月	日立地区産業支援センター ひたちなか商工会議所	成果発表会にむけて(4回開催)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により成果発表会の開催を延期した。

オ 事業の成果及び効果

(ア) 塾生の所属企業1社が「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定された。

(イ) 1名の塾生が所属企業の代表取締役となり、円滑な事業承継に寄与することができた。

(7) 現場のリーダー研修 【新規】

(独) 中小企業基盤整備機構の「中小企業大学校サテライト・ゼミ」を活用した研修により、地域ものづくり・サービス産業を担う次世代経営者や職場の管理者のリーダーシップ・コーチングスキル・マネジメントスキル等の習得を図った。

ア 開催日、受講者数及び研修内容

開催日・講師	受講者数	内容
10月7日、8日、21日 講師 中小企業大学校東京校 坂本 篤彦 氏	7名(5社)	(ア) 次世代トップリーダーの使命と心構え (イ) 経営者の役割、経営の基本、世代トップリーダーのステップアップ策 (ウ) 次世代トップリーダーが目指すべきビジョンと行動目標

※ 6時間/日 × 3日間 = 18時間の研修

イ 事業の成果及び効果

アンケート結果は大半の受講者から「理解できた」との回答があった。講師は実務経験も豊富であり、経験談などは好評であった。



研修風景①



研修風景②



研修風景③

(8) 中小企業魅力体感事業【総合戦略】

日立市の地域特性を活かし、ものづくり産業を中心とする中小企業の技術力及びサービス力等の魅力の発信及び「しごと」体験を実施するとともに、「しごと」の受け皿となる体制を整備することで、「関係人口」の更なる交流と深化を図ることを目的とした「中小企業魅力体感事業」を実施した。

ア 魅力発信

(ア) 魅力発信に用いる媒体（動画及び冊子）の作成

- a 動画「ひたちとわたし」（再生時間 6 分）
- b 冊子「ひたちとわたし」A5 判 16 ページ 5,000 部

(イ) 中小企業の魅力を発信するイベントの企画及び運営

a 移住交流イベント、就職・インターンシップ関連イベント

イベント(会場)	実施日	参加者数
「就職ガイダンス」参加(茨城大学工学部)	4月17日・19日	500名
「日立市魅力紹介・相談会」開催(移住・交流情報ガーデン)	6月30日	1名
「インターンシップ合同説明会」開催(会津大学)	7月2日	6名
「インターンシップ合同説明会」開催(茨城大学)	7月12日	10名
「地域の魅力発見フェア in 東京」出展(六本木ヒルズハリウッドプラザ)	8月24日	41名
「移住・交流&地域おこしフェア 2020」出展(東京ビッグサイト)	1月26日	30名
「企業説明会」参加(ものづくり大学)	2月4日	11名

b 展示会及び商談会

イベント(会場)	開催日
「試作市場 2019」出展(大田区産業プラザ Pio)	4月25日～26日
「2019 筑波銀行ビジネス交流商談会」出展(つくば国際会議場)	10月9日
「めぶき FG ものづくり企業フォーラム 2020」出展	2月20日

(つくば国際会議場)	
------------	--

- c ものづくりのまちコマ大戦の実施
 (a) 実施日 11月9日(土)
 (b) 参加者 一般の部 25チーム(県外から6チーム)、子どもの部 33人
 d 東京圏等の大学訪問
 17キャンパス訪問(東京1、神奈川2、埼玉2、千葉2、福島3、茨城4)

イ しごと体験

(7) 企業見学会

実施日	訪問先・参加人数
9月10日	訪問先：(株)三友製作所、丸善電機工業(株)、JX 金属(株)日鉦記念館 参加者：7名(千葉工業大学学生及び職員)
9月17日	訪問先：(株)ティー・エム・ピー、(株)カドワキ、JX 金属(株)日鉦記念館 参加者：10名(日本工業大学9名、県立産業技術短期大学校教員1名)
10月7日	訪問先：日本醸造工業(株)、(株)宏和商工日立酒造工場 参加者：1名(武蔵野大学文学部3年生)
12月13日 ～14日	訪問先：(株)ジェイ・エス・ディー、(株)東日本技術研究所、日立さくら日本語学校、ティ・エス・ネットワークス(株)、(株)宏和商工日立酒造工場、JX 金属(株)日鉦記念館 参加者：2名
2月19日	訪問先：(株)小沢鐵工所、(株)ショウエイ、JX 金属(株)日鉦記念館 参加者：1名(日本大学生産工学部3年生)
3月2日	訪問先：(株)三友製作所、(株)旭製作所、(株)日昌製作所 参加者：1名(ものづくり大学4年生)



(イ) インターンシップ

実施日	受入企業・実施内容・インターン生
6月14日～8月30日 (40日間)	(株)三友製作所 テーマ：CAD 操作実習、プラズマエッチング装置用治工具の設計・組立・動作確認・実験 ものづくり大学2年生 テーマ：CAD 操作実習、傾転機構動作試験機の設計・製作 ものづくり大学4年生
7月24日～30日 (5日間)	ティ・エス・ネットワークス(株) テーマ：スキムマスターソフトの制作 茨城県立産業技術短期大学校2年生(2名)
8月1日～7日 (5日間)	(株)ジェイ・エス・ディー テーマ：電卓プログラムの作成

	茨城県立産業技術短期大学校 2 年生
8 月 19 日～30 日 (10 日間)	(株)カドワキ テーマ:図面の見方、NC 旋盤・汎用旋盤実習、NC プログラミング講習、CAD 講習、検査測定器講習 日本大学生産工学部 3 年生
8 月 26 日～30 日 (5 日間)	(株)三友製作所 テーマ:3D-CAD を用いた携帯電話及びサンプル評価装置の設計並びに PC 上での組立て 茨城大学大学院 1 年生
9 月 9 日～13 日 (5 日間)	ティ・エス・ネットワークス(株) テーマ:プロジェクト管理システムの改善 茨城大学工学部 3 年生
9 月 9 日～13 日 (5 日間)	(株)東日本技術研究所 テーマ:顧客管理システムの画面設計、表示機能等追加制御システムの表示画面の編集 茨城大学大学院 1 年生(2 名)
9 月 13 日～26 日 (9 日間)	(株)三友製作所 テーマ:局所プラズマ評価装置のデータ採取 茨城大学大学院 1 年生

ウ しごとの受け皿となる体制の整備

(ア) 参加企業 28 社

(イ) 受け皿環境整備準備の支援

a 事業所見学受入体制整備事業補助金

(a) 補助対象者 日立市内で製造業を営み、製造工程等が見学可能な事業所

(b) 対象経費 製作費(説明用資料設備製作費等)、工事費(施設改修・改装費等)

(c) 交付企業数: 8 社、交付総額: 1,484 千円

エ 事業の成果及び効果

(ア) インターンシップについて、11 人の学生が参加。昨年度(5 人)の倍程度の学生を市内中小企業のインターンシップに斡旋できた。

(イ) 日立市での生活を伝える動画を日立市公式 Youtube で配信したところ、再生回数 1,000 回(令和 2 年 3 月現在)を超え、日立市の魅力を伝えることができている。

2 競争力強化に関する事業

(1) 実務アドバイザー派遣・出前研修事業

地域中小企業のものづくりから販売までの様々な課題解決をサポートするため、財団登録実務アドバイザー(専門家)を派遣した。

ア 実務アドバイザー派遣事業

(ア) 登録実務アドバイザー数 117 名(令和 2 年 3 月 31 日現在)

(イ) 派遣企業数 延べ 19 社

(ウ) 派遣日数 延べ 116 日

(エ) 実施内容

本年度は ISO・KES 認証取得に向けた組織構築、ホームページ作成、拡販及び技術教育などの支援内容となった。

区分	実施内容	企業数
ISO・KES・品質保証体制	ISO9001 認証取得支援、KES マネジメント構築	6 社
ホームページ構築等	ホームページ作成・運営、ネット販売支援	5 社
教育・設計・技術指導	技術教育、溶接指導、英訳	6 社
経営強化支援	ポスター作製支援、資産管理	2 社

イ 出前研修

- (ア) 派遣企業数 2 社
- (イ) 派遣日数 13 日
- (ウ) 実施内容 機械加工指導(普通旋盤)

ウ ミラサポ専門家派遣の活用

国の専門家派遣制度を活用して、中小企業への専門家派遣のあっせんを行った。

- (ア) 派遣企業数 延べ9 社
- (イ) 派遣日数 延べ26 日

(2) 品質・環境関連講座事業

ア ISO 内部監査員養成事業

国際認証 ISO 9001 取得後の品質管理システムの維持向上のため、認証を取得している中小企業を対象に内部監査員の養成及びレベルアップのための研修を行った。

- (ア) 開催日、受講者数及び研修内容

開催日	受講者数	内 容
4 月 15 日～18 日	14 名 (9 社)	・内部監査上ポイントとなる規格要求事項の解説 ・内部監査の進め方、監査報告書の書き方 ・演習：不適合指摘、模擬内部監査 等

- (イ) 講師 中小企業実務アドバイザー、ISO9001/ISO14001 主任審査員 藤田 功 氏
- (ウ) 事業の成果及び効果
 - a 受講者 14 名全員が内部監査員養成講座修了証書発行基準(理解度確認テスト 70 点以上かつ出席時間 3/4 以上)を満たしたので、全員に修了証書を授与した。
 - b 受講後すぐ役に立つ講座を目指し模擬監査など実践的な演習に重点を置いた当該講座は、今回も好評価をいただいた。

イ KES 自己評価員養成講座(隔年実施)

KES 環境マネジメントシステムのステップ 2 で要求されている自己評価員の養成講座を開催した。

- (ア) 開催日、受講者数及び研修内容

開催日	受講者数	内 容
5月13日～16日	9名 (7社)	<ul style="list-style-type: none"> ・KES 規格概要説明 ・自己評価実施方法、自己評価報告の書き方 ・評価ポイント検出演習、模擬自己評価 等

(イ) 講師 中小企業実務アドバイザー 品質マネジメントシステム管理技術者
中西 一雄 氏

(ウ) 事業の成果及び効果

これから KES 自己評価員になる受講者が多く、KES 規格の概要から解説する講座内容が好評であった。

ウ 非破壊検査技術者資格取得支援事業

非破壊試験技術者資格試験を受験するための対策講座について、浸透探傷試験(PT レベル1及び2、PD レベル1及び2)、超音波探傷試験(UT レベル1及び2)及び磁気探傷試験(MT レベル1及び2、MY レベル1及び2)の受講を支援した。

(ア) 受講者数 21名(10社)

(イ) 講習会場 (株)日立製作所日立事業所

(ウ) 受験者内訳(受講者21名のうち17名が受験)

	非破壊検査		レベル1			レベル2		
			受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)
平成 31年 春期	浸透探傷試験	PT				1	0	0.0
		PD	1	1	100.0			
	超音波探傷試験	UT	2	0	0.0	1	0	0.0
	磁気探傷試験	MY	1	0	0.0			
		MT	1	0	0.0			
計		5	1	20.0	2	0	0.0	
令和 元年 秋期	浸透探傷試験	PT	3	0	0.0	1	1	100.0
		UT				1	0	0.0
	磁気探傷試験	MY	1	1	100.0			
		MT	4	2	50.0			
	計		8	3	37.5	2	1	50.0
合計		13	4	30.8	4	1	25.0	

(エ) 事業の成果及び効果

a 全国平均合格率はレベル1が約41%、レベル2が約29%であるが、今回の結果は、レベル1、2共に全国平均を下回った。

b 今回の不合格者については、引き続き継続的な支援を行っていく。

エ 品質管理基礎講座

取引先等に対する信頼性の向上及び品質保証体制の強化を図るため、不良再発防止に重点を置いた講座を実施した。

(ア) 開催日、受講者数及び研修内容

開催日	受講者数	内 容
2月3日～6日	16名 (9社)	・不良低減活動の進め方 ・不良原因を究明する手法 ・是正処置の進め方、是正処置演習 等
2月25日～28日	10名 (5社)	

(イ) 講師 中小企業実務アドバイザー 品質マネジメントシステム管理技術者 中西 一雄 氏

(ウ) 事業の成果及び効果

- a 16名定員で受講者募集を行ったところ申込期限前に定員いっぱいとなり、その後も受講希望企業からの問い合わせが続いたため、追加開催した。
- b 5年目の開催であるが、昨年度から5W分析に重点を置き、演習課題などを見直してきた結果、受講者からの高い有効度評価につながっている。また、不良低減活動に役立つ多くの参考資料の提供を行い、これも好評である。

オ 統計的品質管理入門講座

品質管理の関係者を対象に「QC七つ道具」をベースにした統計的品質管理の初歩的手法を学ぶ講座を開催した。

(ア) 開催日、受講者数及び研修内容

開催日	受講者数	内 容
12月2日～5日	10名 (9社)	・データのとり方、まとめ方 ・母集団とサンプリング、グラフの種類と適用 ・正規分布、管理図、工程能力指数 等

(イ) 講師 中小企業実務アドバイザー 松本 宏 氏

(ウ) 事業の成果及び効果

受講者全員がパソコンを持参し、表計算ソフトの統計機能を使った実践的講座として好評であった。

(3) 県北ものづくり産業活性化支援事業

茨城県の委託により、県北地域のものづくり産業活性化を図るため、中小企業の営業力強化や技術力向上等の支援に取り組み、提案型企业への転換を図るとともに、新たな販路開拓に向けた支援を行った。

ア 中小企業の販路開拓支援

(ア) 連携体制づくり支援

実際の受注活動を通じた研究会活動や受注連携に取り組む企業の掘り起こしを通して、共同受注体等の取組を支援した。

a Aグループ (9社)

展示会・商談会での共同出展を通しての受注連携の可能性を研究

期日	内容
7月25日	経営支援NPOクラブによるマッチング希望先調査
1月23日	経営支援NPOクラブによるマッチング支援(コマツ茨城工場)
1月29日～30日	彩の国ビジネスアリーナ出展
2月20日	めぶきFGものづくり企業フォーラム出展
随時	受注状況等ヒアリング、フォローアップ

b Bグループ (3社)

グループの強みの分析による顧客ターゲットの絞り込み、アプローチ、商談の一連の流れを通しての受注連携の可能性を研究

期日	内容
2月20日	めぶきFGものづくり企業フォーラム出展
随時	受注状況等ヒアリング、フォローアップ

c Cグループ (3社)

伊師工業団地の強みを生かした受注連携の可能性を研究

期日	内容
4月3日、 17日、23日	販路開拓、受注拡大に向けたホームページ作成指導 ・講師：佐野 真理子 氏
9月4日～6日	高精度・難加工技術展出展
1月29日～30日	彩の国ビジネスアリーナ出展
2月26日～28日	航空・宇宙機器開発展出展
随時	受注状況等ヒアリング、フォローアップ

イ 技術力・生産性向上支援

(ア) 向上塾

現場改善事例セミナーを開催するとともに、参加企業の生産現場に専門家を派遣し、各社ごとの課題の抽出や、改善に向けた活動を支援した。

a 現場改善事例セミナー

期日	テーマ・講師
6月11日	テーマ 『儲かる5S・働き方改革』 講師 (株)今橋製作所 代表取締役 今橋 正守 氏
2月13日	テーマ 『「足利流5S」で仕事の本質に迫る... 凡事徹底の威力』 講師 きむら5S実践舎 代表 木村 温彦 氏

b 現場改善に精通した専門家によるハンズオン支援(4社35回)

c 向上塾成果発表会

(a) 開催日 3月5日(木)

(b) 発表企業及びテーマ

企業名	発表テーマ
(株)宮本製作所	5Sを通じた社員教育
(株)今橋製作所	儲かる5S
吉野電業(株)	足利流5Sによるムダ取り
(株)関根鉄工所	5Sによる現場改善

(イ) IT活用研究会

地域中小企業の経営者、IT担当者等を対象にした研究会活動により、自社のIT活用に係る課題解決を目指すとともに、参加企業間の情報交換、情報共有を行い、ITの効率的な活用による企業体質の強化を図った。

a IT活用研究会(9社)の開催

期日	内容
6月18日	IT活用研究会活動内容について 参加企業の課題、テーマについて
7月26日	参加企業の現場見学((株)今橋製作所)
9月13日	参加企業の現場見学((株)西野精器製作所)
10月23日	Japan IT Week 秋見学会
11月6日	参加企業の現場見学(吉野電業(株))
1月22日	参加企業の進捗、課題等の確認
2月18日	地域リーダーによるIT・IoT活用セミナー 講師 (株)ヒバラコーポレーション 代表取締役 小田倉 久視 氏
3月3日	参加企業の成果報告

(ウ) 共同受注体等への活動支援

県北地域のものづくり中小企業者又は共同受注体が行う受注を獲得するための技術力PR活動等に係る経費に対する助成を行った。

受注連携活動の実践的な取組を行う企業グループ等や自社の技術力をPRするための展示会への出展等に係る経費に対し、助成を行った。

a 助成対象者数 6社、3グループ

b 交付総額 4,789,000円

(4) 中小企業IoT対応支援事業【総合戦略】

日立市の委託により、ものづくりを中心とした中小企業等を対象にIoT化への対応を推進するため、IoT活用の手法及び効果の周知やIoT導入に向けた環境整備等の支援を行った。

ア 中小企業IoT対応支援事業キックオフセミナー

(ア) 期日 5月23日(木)

(イ) 場所 日立地区産業支援センター

(ウ) 参加人数 47名

(エ) 内容

a IT 導入補助金の概要について

講師 関東経済産業局 地域経済部 地域振興課 課長補佐 萩野 稔 氏

b 中小企業 IoT 対応支援について (IoT 導入・活用事例紹介)

c IoT 関連支援事業のご紹介

イ IoT ツールを用いた導入支援 (4 社)

企業名	取組内容	対象設備等
(株)宮本製作所	正確な稼働状況 (生産個数及びサイクルタイム) の把握	自動車部品用自動機械加工装置
吉野電業 (株)	各作業の行程タクト及び作業負荷の把握 (見える化)	コイル巻き線から完成品までの作業工程
(株)大和電機製作所	モーターのメンテナンス時期を提案できるデータの収集	顧客設備機器のモーター
(株)中村自工深川製作所	生産設備の稼働状況の見える化	NC 旋盤等の生産設備

ウ IoT 診断の実施 (3 社)

企業名	診断内容
(株)大和電機製作所	新ビジネスモデル診断・構想
(株)堀田電機製作所	IoT 導入・活用に向けた業務プロセス能力診断 IoT 導入・活用による業務プロセス改善
(株)茨城製作所	IoT 導入・活用に向けた業務プロセス能力診断

エ IoT ショールームの整備支援

IoT 活用の先進事例として見学可能な工場等を整備する中小企業に対し、IoT コーディネーター等との導入ツールの検討支援及び設備導入に係る助成を行った。

(ア) 助成企業数 1 社

(イ) 助成額 3,650,000 円

オ 技術者のリカレント教育

国立大学法人茨城大学工学部と連携し、地域の事業所等に勤める技術者へのリカレント教育として、IoT に関する特別講座を実施した。

(ア) 日時 3月3日 (火)

(イ) 場所 日立地区産業支援センター 大研修室

(ウ) 講師 茨城大学 大学院理工学研究科 教授 湊 淳 氏

(エ) 内容 センサとマイコンでゼロから始める IoT

(オ) 受講者数 51 名

カ IoT 人材育成

IoT や AI を活用して地域産業振興に貢献する人材を育成する事業を行う団体に対し、人材の育成を図るための研修等に係る経費の補助を行った。

(ア) 補助事業者 Hitachifrogs 実行委員会

(イ) 交付額 2,000,000 円

(ウ) 事業実施期間 5月～2月

(エ) 補助事業の内容

- a IoTやAIを含むテクノロジーを駆使して社会問題を自ら解決していく発想と行動力を培う機会を学生に提供し、ハイブリッドイノベーター人材を未来に向けて育成するプログラムを実施した。
- b 高校生・大学生(5名)に対して、英語研修、プレゼンテーション研修などを経て、米国シリコンバレーでの起業家、投資家、エンジニア等とのパネルセッション・サービスプレゼンテーションを行った。

(4) 地域中核企業ローカルイノベーション支援事業

関東経済産業局の委託を受け、地域のものづくり企業からなる異業種連携の共同受注体「GLIT(グリット)」による、海外医療機器市場をターゲットとする販路開拓の取組を支援することにより、地域を牽引するグローバルニッチトップ企業の育成を目指した。

ア 事業期間 6月～3月

イ 実施体制

(ア) プロジェクトマネージャー((株)海外進出支援サービス 代表取締役 大迫隆政氏)によるハンズオン支援

(イ) 参加企業数 GLIT企業10社

ウ 事業内容

(ア) 共同受注体の体制強化

各企業が有する技術的な特徴や強み、販路開拓の取組状況を把握し、課題の整理とスキルアップ支援を行うとともに、企業間連携体制の強化のため国内有力企業への訪問を行い、ネットワークを構築した。

(イ) 低侵襲性手術具の開発

国内外の医療関係者と意見交換を重ねながら、検体を用いた実証実験、展示会でのサンプル展示による評価などによって低侵襲性手術具の試作改良を行った。

(ウ) 国内外をターゲットとした販路開拓

a CNC工作機械・金属加工展(中国上海市)

(a) 9月17日(火)～21日(土)

(b) 参加企業の要素技術、製品の展示(参加企業:7社)

(c) 大手医療機器メーカーとの商談

b 医療機器展示会 MEDICA2019 出展(ドイツデュッセルドルフ)

(a) 11月18日(月)～21日(木)(参加企業:3社)

(b) 低侵襲性手術具のサンプル展示

(c) JETROブースでのプレゼンテーション実施

c 北米販路開拓訪問

(a) 3月3日(火)～11日(水)

(b) 訪問先 大手医療機器メーカー訪問、Medtrade Fair 2020 Spring 視察ほか

エ 事業の成果及び効果

MEDICAへの出展を通じて55か国の企業と118件の商談を行い、多くの企業から低侵

襲性手術具の販売オファーを受けた。

3 受注顧客開拓に関する事業

(1) 首都圏受発注促進事業

受発注コーディネーターが首都圏及び日立地域の企業訪問により、発注案件を開拓し、地域中小企業に取引のあっせんを行った。

ア 受注件数及び金額

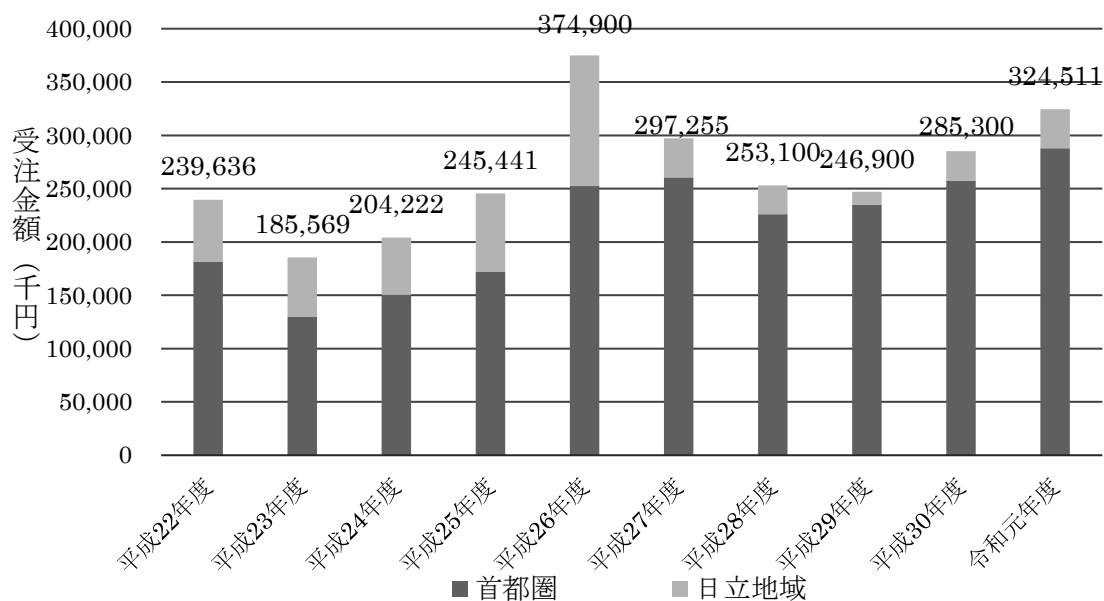
項目	首都圏	日立地域	合計
受注件数	147 件	33 件	180 件
うち新規	6 件	5 件	11 件
受注金額	287,958 千円	36,553 千円	324,511 千円
うち新規	81,053 千円	641 千円	81,694 千円

イ 事業の成果及び効果

(ア) 受注金額は前年度の 113.7%と増額し、目標値(受注件数 150 件、受注金額 200,000 千円)を大きく上回ることができた。

(イ) しかし、年度後半は米中貿易摩擦の影響で案件減少が見られた。

ウ 過去 10 年間の受注金額



(2) 東京サテライトオフィス運営事業【総合戦略】

新規受注開拓及び販路開拓の積極的な事業展開をサポートするため、企業イメージアップ、首都圏での営業活動の効率化を図ろうとする中小企業を対象に、東京都千代田区に常設分割型専用ブースを設置し、営業拠点としての利用を図った。

ア 利用企業数 7 社

(ア) 専用ブース及びロッカー利用 3 社

(イ) ロッカーのみ利用 4 社

イ 事業の成果及び効果

- (ア) 目標達成率 70%(利用目標値 10 社)
- (イ) 引き合い件数 75 件(うち受注件数 : 38 件、受注金額 : 47,100 千円)

(3) 専門展示会出展事業

ア 試作市場出展事業

- (ア) 出展期間 4月25日(木)~26日(金)
- (イ) 出展会場 大田区産業プラザ Pi0 (東京都大田区)
- (ウ) 来場者数 3,098名(1日目:1,719名、2日目:1,379名)
- (エ) 出展企業数 8社(新規2社)
- (オ) 事業の成果及び効果

各出展ブースへの訪問者が多く引き合いがあった。見積依頼 16 件中、新規受注は 1 件であった。名刺交換した企業との結びつきは継続している。

(名刺交換 : 232 件、新規受注 : 1 件、見積依頼 : 16 件)



展示ブースの様子



ワークショップ(企業紹介)の様子

イ 高精度・難加工技術展出展事業

- (ア) 出展期間 9月4日(水)~6日(金)
- (イ) 出展会場 パシフィコ横浜 (横浜市)
- (ウ) 来場者数 66,421名
- (エ) 出展企業 7社(新規1社)
- (オ) 事業の成果及び効果



出展者のうちの 1 社が出展後の営業活動により、4 か月後に新規受注を受けた。

(名刺交換 : 369 件、新規受注 : 10 件、見積依頼 : 55 件)

ウ 機械要素技術展出展事業

- (ア) 出展期間 2月26日(水)~28日(金)
- (イ) 出展会場 幕張メッセ (千葉市)
- (ウ) 来場者数 10,664名(初日:4,043名、2日目:3,570名、3日目:3,051名)
- (エ) 出展企業 7社(内、5社はパネル展示のみ。)
- (オ) 事業の成果及び効果

- a 新型コロナウイルスにより、共同出展社の直前参加自粛が 5 社。
 - b 来場者は通年の約 1/9 となった。直前の出展取りやめ、大手、東京都の共同出展者の直前中止が発生した。
- (名刺交換：48 件、新規受注：0 件、見積依頼：0 件：直後アンケート)

(4) 販路開拓マッチング支援事業【新規】

3 つの展示会共同出展企業に対して経営支援 NPO クラブを介した販路開拓マッチング支援を 1 年間かけて実施した。

ア 事業の成果及び効果

新たな販路開拓マッチングができた企業	10 社
新たな新規受注が実現した企業	4 社

(5) ドイツ販路開拓支援事業【総合戦略】

日立地区の中小企業を中心とした企業グループとドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク(BW)州の企業群(クラスター)との間でビジネス交流を進め、新規受注獲得に取り組んだ。

ア 実施体制

(ア) 交流クラスター BW-i automotive-bw

(イ) 協力者 ジェトロ本部、ジェトロ茨城貿易情報センター、ジェトロデュッセルドルフ事務所

イ 事業内容

(ア) 医療機器展示会での商談

a 派遣期間 11 月 18 日(月)～11 月 21 日(木)

b 参加企業 3 社

c 内容

ドイツデュッセルドルフで開催された医療機器展示会 MEDICA において、BW-i が出展するドイツバーデンヴュルテンベルク州産業クラスターのブース(31 社)を訪問し、商談及び情報交換を行った。

(イ) EVO-JAPAN ワークショップ 見学会

a 期日 11 月 19 日(火)

b 参加企業 3 社

c 内容

(a) BW 州とのビジネス交流をきっかけに平成 31 年に日立市内に日本法人を設立した(独)EVO Informationssysteme GmbH 社(EVO 社)の生産管理システムのワークショップを開催した。

(b) EVO 社の社長によるシステム及びドイツにおけるインダストリー4.0についての説明が行われた。

(c) 地域中小企業 2 社及びパートナー企業 1 社(東京)、センターコーディネータ

ーが参加した。

(ウ) シンポジウム「ドイツ中小企業におけるインダストリー4.0」参加

a 実施日 2月18日(火)

b 内容

在日ドイツ商工会議所が主催するシンポジウムに参加し、日立市に進出したEVO社を含む、ドイツ中小企業7社のインダストリー4.0の取組に関する情報交換を行った。

エ 事業の成果及び効果

ドイツBW州を中心としたものづくり中小企業との継続的な商談の機会が得られた。また、日立市に進出したEVO-JAPANの活動をサポートすることで、同社の当地での事業の定着が図られた。

(6) 海外展開を進める企業の経営安定化事業

ドイツ地域で受注活動する企業に対し、現地企業との商談の事前調整及び通訳を含めた同行支援を行うことで、受注獲得成果を高める支援を行った。

ア 実施期間 5月～11月

イ 利用企業数 3社

ウ 実施内容

ドイツに事務所を有し、ものづくりに精通する事業者に、商談コーディネート業務を委託し、利用企業1社当たり2日までの商談をサポートした。

項目	利用社数	利用日数
企業訪問への同行支援	1社	2日
展示会出展等での商談支援	2社	4日

エ 事業の成果及び効果

事業を通じて6件の商談支援を行い、4件が継続案件となった。

4 新製品新技術開発に関する事業

(1) 産学官連携研究開発補助事業【総合戦略】

中小企業が取り組む製品開発及び技術開発に資する技術ニーズを公募し、地域中小企業への波及効果が高いものについて、中小企業だけでは開発困難な研究内容に関し茨城大学を初め3大学に基礎研究及び応用研究を委託した。

ア 実施内容並びに事業の成果及び効果

テーマ名		依頼企業-委託先
1	体の不自由な人をカメラ映像から検出する方法の検討	(株)ヒューマンサポートテクノロジー ーノースカロライナ州立大学 松田 教授
内容	カメラ映像から体の不自由な人を自動検知し、サポートに役立てる。	
成果	白杖を持つ方や車いすで施設を訪れる方を撮影し、そ	

	のデータを学習させる汎用ソフトを開発した。	
2	静電気力顕微鏡用カンチレバー加工技術開発	イイダ電子(株) －日本大学 理学部 中川活二 教授
内容	静電気力顕微鏡の主要部となるカンチレバーの製作にあたり、工業製品としての加工技術の開発を行う。	
成果	イイダ電子(株)にて「カンチレバー」を生産可能とする技術を開発できた。	
3	5G(第5世代移動通信システム)に向けた配線基板の実用化研究	(株)M&M 研究所 －茨城大学工学部 山崎 和彦 准教授
内容	銅マイクロ粒子レーザ石英配線基板の実用化を目指し、大容量通信に寄与する。	
成果	スクリーン印刷法では困難であった線幅 100 μ m、膜厚 7 μ m の直線性に優れた導電膜を形成できた。	
4	粒子法によるダイ・パンチ間のプレスオイル流動の解析	(株)大貫工業所 －茨城大学工学部 永野隆敏 講師
内容	絞り加工の金型を設計、加工するにあたり、粒子法解析による解析を適用する。	
成果	金型におけるプレスオイル流動の挙動に関し、有限要素法とともに粒子法で解析を行うことにより、現実的な解を得られた。	
5	熱核融合実験炉 新素材試験体の溶炉施工条件の確立	(株)旭製作所 －茨城大学工学部 鈴木徹也 教授
内容	新素材 XM-19 の溶接に関して、溶接された金属組織の機械試験及び組織観察を通して、溶接方法の確立及び溶接士の選定につなげる。	
成果	予備実験として従来素材の SUS316L 溶接部の金属組織の観察を行い、新素材 XM-19 の溶接に関しての留意点を確認できた。	

(2) 競争的資金獲得支援事業

個別のテーマに応じた補助金等申請書のブラッシュアップ及び補助金に係る情報提供など、地域中小企業が国等の競争的資金を獲得するための支援を実施した。

ア 補助金申請個別相談

名称	相談件数	採択件数
地域中核企業ローカルイノベーション支援事業	1 件	1 件
ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金	16 件	11 件
小規模事業者持続化補助金	1 件	1 件
合計	18 件	13 件

イ 先端設備等導入計画申請に係る個別相談

(ア) 相談件数 17 件

(イ) 認定件数 17 件

ウ 事業の成果及び効果

18 件の補助金申請に係る相談に対して申請書作成の支援を行い、13 件が採択となり、採択率は 72.2%であった。

(3) 新たな連携活動推進事業

異業種、同業種による共同体などの有機的な新たな連携活動を促進し、それぞれの経営資源を活用した新商品開発や販路開拓など、日立市内の事業者による新規ビジネスの創出を図った。

ア 新たな連携活動推進コーディネーターの配置

(ア) (有)NEW ビジネス研究所 所長 天野 良英 氏

(イ) iiberall(イイベラル) 代表 根本 緑 氏

イ 事業の実績

(ア) 工業、農水産業及び商業の事業者等との連携及び設備導入支援 5 件

(イ) 若手農業者の会(Re:Agri)の開催

市内若手農業者の要望により、近隣の若手農業者のネットワーク構築のための支援を実施した。

実施日	活動内容
4 月 11 日	展示会紹介、Re:Agri の運営方法等
5 月 15 日	今後の活動、各自の意見交換等
6 月 19 日	講演会開催、会則、運営、ファーマーズマーケット等
8 月 21 日	講演会 演 題：「土壌微生物多様性・活性値」 講 師：(株)DGC テクノロジー 代表取締役 CEO 櫻本直美 氏
8 月 27 日	近況報告、ファーマーズマーケットに関して
9 月 27 日	産業祭ステージイベントについて
10 月 9 日	農業 Week 見学会
10 月 23 日	産業祭ステージイベントについて
11 月 9 日	日立市産業祭農業クイズ大会

(ウ) マルシェの開催支援

市内事業者の業種の枠を超えた新たな連携による地場製品のブランド力向上と販路開拓を行うためのマルシェ開催を支援した。

ウ 事業の成果及び効果

(ア) 5 件の農業者及び事業者への支援を行った。

(イ) 事業者主導による日立市役所大屋根広場等でのマルシェ開催の機運醸成を図ることができた。

(4) 戦略的基盤技術高度化支援事業

ア 戦略的基盤技術高度化支援事業(IoT デバイス故障解析用プラズマ精密深掘り装置の開発)

平成 30 年度に国から採択された戦略的基盤技術高度化支援事業(IoT デバイス故障解析用プラズマ精密深掘り装置の開発)の事業実施にあたり、事業管理機関として事業の進捗管理及び経費処理管理を実施した。

(ア) 研究実施機関(間接補助事業者)

(株)三友製作所、(国研)産業技術総合研究所、茨城県産業技術イノベーションセンター

(イ) 実施内容

a 研究開発推進委員会

開催日	内容	出席者数
6月3日	事業概要説明及び主要検討項目の進め方確認	15名
10月3日	研究開発の進捗状況確認及び川下メーカーゲストによる進め方アドバイス	17名
2月12日	研究開発の進捗状況及び最終年度の進め方	13名

b 研究開発経費に関する管理

- (a) 中間検査及び確定検査による進捗状況報告
- (b) 事業完了届、実績報告及び間接補助事業者への額の確定及び支出

(ウ) 事業の成果及び効果

- a 本年度は3年間の事業計画の2年目であり、事業期間内に予定どおり研究開発が完了した。遠赤外顕微鏡の導入による深掘り量の評価、局所プラズマ加工装置用ソフトウェアの導入及び局所プラズマ加工装置試作機の改良により実デバイス検査前の加工性が向上した。
- b 研究開発に係る経費を補助金交付要綱等に基づき適切に処理した。

イ 戦略的基盤技術高度化支援事業(油圧機能内蔵金型による深絞り成形技術の開発)

平成 30 年度に国から採択された戦略的基盤技術高度化支援事業(油圧機能内蔵金型による深絞り成形技術の開発)の事業実施にあたり、事業管理機関として事業の進捗管理及び経費処理管理を実施した。

(ア) 研究実施機関(間接補助事業者)

(株)大貫工業所、(大)茨城大学、茨城県産業技術イノベーションセンター

(イ) 実施内容

a 研究開発推進委員会

開催日	内容	出席者数
7月11日	実施内容と推進計画及び検討項目の進め方確認	14名
11月27日	研究開発の進捗状況確認	16名

2月21日	H31年度進捗状況の確認	13名
-------	--------------	-----

- b 研究開発経費に関する管理
- (a) 中間検査及び確定検査による進捗状況報告
- (b) 事業完了届、実績報告及び間接補助事業者への額の確定及び支出
- (ウ) 事業の成果及び効果
- a 本年度は3年間の事業計画の2年目であり、事業期間内に予定どおり研究開発が完了した。油圧機能内蔵金型のCAE構造解析、粒子法によるプレスオイルの金型内における流動解析に加え、SUS304の角形深絞り加工実験を実施し、量産に向けての金型の基本構造やステンレス材料の深絞り加工について開発が進んだ。
- b 研究開発に係る経費を補助金交付要綱等に基づき適切に処理した。

5 経営者の啓発に関する事業

(1) 外国中核人材活用事業【新規】

地域中小企業の人材不足に対応し、競争力を維持・強化するための一方策としての外国人材活用について、雇用セミナー及びミャンマー国内の送出機関の調査を実施した。

ア 外国人材活用セミナー

- (ア) 開催日 9月11日(水)
- (イ) 参加者数 31名(19社)
- (ウ) 内容

講演題目	講師
外国人を雇用するには	行政書士 菊池 富美夫氏
外国人材採用状況と茨城県外国人材支援センターについて	茨城県外国人材支援センター 統括マネージャー 吉澤 智也 氏
やってみた！初めての外国人材採用	(株)エムテック 代表取締役 松木 徹 氏
高度外国人材に関するサービスの紹介	(独)日本貿易振興機構 小田倉 千明 氏

イ ミャンマー視察調査

- (ア) 日時 12月10日(火)～13日(金)
- (イ) 参加者数 15名(8社、6機関)
- (ウ) 内容

月日	内容
12月10日	ヤンゴン茨城県人会との懇親会
11日	・ジェトロヤンゴン事務所 訪問 ・ティワラ経済特区工業団地 (株)フジワーク ミャンマー訪問 ・Myanmar Japan Thilawa Development (経済特区管理会社) 訪問

12日	<ul style="list-style-type: none"> ・送出機関① J-SAT 訪問（高度人材送出機関） ・送出機関② Myanmar Kentoku Agency 訪問（技能実習生送出機関） ・送出機関③ All Access Myanmar 訪問（技能実習送出機関）
-----	--



送出機関①



送出機関②



送出機関③

ウ 事業の成果及び効果

- (ア) 地域企業に対して外国人材の活用事例及び注意点等を紹介することができた。
- (イ) ミャンマー調査参加企業による採用面接が実施され、ヤンゴン工科大学卒業者の採用が決定した（5社で10名）。

(2) 事業承継対策セミナー

県北臨海地域の中小企業者等を対象とした事業承継や資産承継に係るセミナーを開催し、地域企業の事業承継対策の一助とした。

ア 開催日 6月24日(月)

イ 参加者数 60名

ウ 内容 相続税法の改正、事業承継税制、不動産の法人化、持株会社、従業員持株会、種類株式、民事信託など、円滑な事業承継や資産承継のポイントについての解説

エ 講師 税理士法人ベリーベスト 税理士 島本 広幸 氏

6 創業支援事業

(1) 日立創業支援ネットワーク事業【総合戦略】

新規創業の促進及びその後の事業安定化を図るため、創業支援事業計画に基づき日立市、日立商工会議所及び日本政策金融公庫日立支店と連携して、以下の取組を行った。

ア インキュベーション施設を通じた創業支援

- (ア) マイクロ・クリエイション・オフィス(MCO)利用者
- (イ) 創業準備デスク利用者

イ 個別相談会

MCO利用者に加えて地域の創業希望者及び創業間もない者を対象として、専門家による個別相談会を実施した。

(ア) 期間 4月～3月

(イ) 回数 12回

- (ウ) 相談者数 8人
- (エ) 相談件数 延べ42件
- (オ) 専門家 (有)つくばインキュベーションラボ 取締役 上原 健一 氏
- ウ 連携機関との協力
 - (ア) 連絡会議 7回
 - (イ) 関係機関主催イベントの共催及び協力 3回
- エ 事業の成果及び効果
 - (ア) 新規に2事業者がMCOに入居した。
 - (イ) 関係機関と連携してイベントの企画運営を行うことで、より効果的な内容とすることができた。

7 情報収集発信に関する事業

(1) ホームページ・メールマガジン運営事業

各種事業のPR、公募及びイベント告知のために、ホームページの掲載及びメールマガジンの送信により効率的な情報発信を実施した。

ア 実施内容

- (ア) ホームページ情報掲載数(センターからのお知らせ) 67回(随時更新)
- (イ) メールマガジン発行回数 24回(月2回発行)

イ 事業の成果及び効果

- (ア) ホームページアクセス件数(トップページ) 32,100件
- (イ) メールマガジン登録者数 480名

(2) 支援施策調査研究事業

中小企業向けビジネスマッチングサイト J-Goodtech(ジェグテック)を運営する中小企業庁が自治体やの支援機関向けに実施する「ジェグテックマイスター研修」に職員1名を派遣した。

ア 実施期間 9月19日(木)～20日(金)及び2月17日(月)

イ 会場 中小企業基盤整備機構関東本部

ウ 内容

ジェグテックのビジネスマッチングサイトの活用のため、システム機能と運用に関する理解を深め、地域企業の活用推進に向けた体制の構築を図った。

エ 事業の成果

所定の課程を修了し、地域中小企業の販路開拓支援ツールとして同マッチングサイトの活用を進める体制が整った。

(3) 訪問アドバイザー事業

日立市内の企業を中心に中小企業実務アドバイザーが計画的に企業訪問を実施し、企業の当センターに対する意見及び要望を聴取し、必要に応じて財団のコーディネーター

が再訪問するなどの対応を実施した。

ア 訪問期間 6月～9月

イ 訪問計画企業 62社

ウ 訪問アドバイザー 6名(2名/組 × 3組)

エ 事業の成果及び効果

(ア) 訪問計画企業 62社中 53社(85.5%)を訪問し、10社がメールマガジン購読の新規登録を行い、センターが定期的に発信する様々な情報の入手が可能となった。

(イ) 20社について、訪問アドバイザーからの申し送りに基づき、センターのコーディネーターが追加訪問等を行った。

(4) 新型コロナウイルス感染症の影響に係る雇用調整助成金等説明会&個別相談会

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者を対象に、雇用調整助成金等の支援策に関する説明会及び個別相談会を開催した。

ア 開催日 3月27日(金) (午前の部及び午後の部に分けて開催)

イ 参加者数

(ア) 説明会 52名(午前の部31名、午後の部21名)

(イ) 個別相談 6社

ウ 内容 雇用調整助成金、労働時間等改善助成金、小学校等の臨時休業に伴う保護者の休暇取得支援及び日立市の支援策

エ 講師(相談対応者) 特定社会保険労務士 皆川雅彦氏、吉川啓行氏

8 地域交流に関する事業

(1) 日立地区産業支援センター開設20周年記念事業

日立地区産業支援センターが開設20周年を迎えたことを機に、地域の中小企業とともに歩んできた20年間の軌跡を振り返り、関係者に対し感謝の意を伝えるとともに、今後の産業振興に係る活動方針等を地域内外に発信するため、記念式典及びシンポジウムを開催した。

ア 記念式典

(ア) 開催日 11月29日(金)

(イ) 会場 ホテル テラス ザ スクエア日立

(ウ) 出席者数 64名

(エ) 内容 センター20年の歩みの紹介、感謝状贈呈



式典風景



感謝状贈呈

イ 全国若手ものづくりシンポジウム in ひたち

(ア) 開催日 11月29日(金)～30日(土)

(イ) 会場 日立シビックセンターほか

(ウ) 参加者数 232名

(エ) 内容

a 日立市のものづくり産業の歴史紹介、ひたち立志塾の紹介

b 基調講演

(a) テーマ 新時代を担う地域中小企業

(b) 講師 一橋大学 名誉教授 関 満博 氏

c パネルディスカッション

テーマ	地域共創
進行役	関 満博 氏 (一橋大学 名誉教授)
パネリスト	黒木 繁人 氏 ((株)旭建設 代表取締役) 野津 積 氏 (モルツウエル(株) 代表取締役) 赤津 浩史 氏 ((株)赤津工業所 代表取締役) 菅井 里輝 氏 ((株)幸手スプリング 代表取締役)

d グループディスカッション

e 大交流会

f ひたちエクスカージョン

区分	行程	参加者数
Aコース	御岩神社、J X金属日鉱記念館	8名
Bコース	(株)瀬谷製作所、(株)沢島製作所	46名



シンポジウム風景



グループディスカッション



大交流会

(2) 地域交流講演会開催事業 (スーパーヒットクラブ)

地域の特徴的な企業の見学会を開催し、中小企業関係者が、新たな交流とビジネスのヒントを発見する機会とした。

ア 開催日、内容

開催日	内 容	参加者数
10月10日	三菱日立パワーシステムズ(株)日立工場見学会 ・工場の概要説明	35名

	<ul style="list-style-type: none"> ・ AM 事業及び AM 産業クラスター構想の説明 ・ AM 工場システムの見学(粉末製造装置、AM 造形装置等) <p>※ AM : Additive Manufacturing の略、3D 積層造形</p>	
1 月 23 日	<p>コマツ茨城工場見学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工場の概要説明 ・ 工場見学(ダンプトラック、ホイールローダの溶接、組立、検査工程) 	35 名

イ 事業の成果及び効果

地域中小企業にとって、地域内の大手企業の事業内容を理解する場及び交流機会を提供することができた。

II. 公共施設の管理

日立地区産業支援センターの管理を実施した。

1 利用状況

- (1) 利用件数：1,388 件
- (2) 利用者数：16,433 名
- (3) 使用料収入：3,394,620 円
- (4) 目的別利用状況

区分 使用目的	件数(件)	比率(%)	人数(名)	比率(%)
見学	17	1.2	34	0.2
会議	610	43.9	15,080	91.8
機器利用	162	11.7	404	2.5
相談	102	7.3	135	0.8
情報交換・打合せ	313	22.6	444	2.7
その他	184	13.3	336	2.0
合計	1,388	100.0	16,433	100.0

2 修繕等の状況

エレベーター、コンプレッサー及び機器の修繕を実施した。

III. 組織

1 役員等

令和2年3月31日現在

役職名	現員数	備考
評議員	7	
理事	7	理事長 1名 副理事長 1名 常務理事 1名
監事	2	

2 職員

令和2年3月31日現在

常勤職員	非常勤職員	委嘱職員	日立市 派遣職員	合計
7	10	1	3	21

IV. 理事会・評議員会

会議名	開催日又は決議があったものとみなされた日	案	件
令和元年第2回臨時理事会	5月21日	議案第5号	令和元年第2回臨時評議員会の開催について
令和元年第2回臨時評議員会	5月22日	議案第2号 議案第3号	公益財団法人日立地区産業支援センターの評議員の選任について 公益財団法人日立地区産業支援センターの理事の選任について
令和元年第2回通常理事会	5月28日	議案第6号 議案第7号 議案第8号 報告第2号	平成30年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業報告及び決算について 公益財団法人日立地区産業支援センター補正予算(第1号) 令和元年定時評議員会の開催について 業務執行理事の職務執行状況について
令和元年定時評議員会	6月25日	議案第4号 議案第5号 報告第2号	平成30年度公益財団法人日立地区産業支援センター決算について 公益財団法人日立地区産業支援センターの理事の選任について 平成30年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業報告について
令和元年第3回臨時理事会	6月25日	議案第9号 議案第10号 議案第11号	公益財団法人日立地区産業支援センターの理事長の選定について 公益財団法人日立地区産業支援センターの副理事長の選定について 公益財団法人日立地区産業支援センターの常務理事の選定について
令和2年第1回通常理事会	2月20日	議案第1号 議案第2号 議案第3号	令和2年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業計画及び収支予算について 平成31年度公益財団法人日立地区産業支援センター補正予算(第2号) 公益財団法人日立地区産業支援センター任期付職員の給与に関する規程の一部を改正する規程の制定について

		報告第 1 号	業務執行理事の職務執行状況について
令和 2 年第 1 回 臨時理事会	3 月 26 日	議案第 4 号	令和 2 年第 1 回臨時評議員会の開催について
令和 2 年第 1 回 臨時評議員会	3 月 30 日	議案第 1 号 議案第 2 号	公益財団法人日立地区産業支援センターの評議員の選任について 公益財団法人日立地区産業支援センターの理事の選任について